

インフルエンザ(2026年第9週)疫学情報

《コメント》

2026年第9週の定点当たり報告数は22.66(患者報告数86,175)となり、前週の定点当たり報告数34.54よりも減少した。都道府県別では長野県(37.16)、石川県(34.40)、岩手県(32.95)、愛媛県(31.78)、富山県(31.15)、埼玉県(30.21)、山口県(28.76)、新潟県(28.67)、青森県(27.29)、福島県(26.92)、宮崎県(26.46)、奈良県(26.21)の順となった。全国47都道府県中、2都道府県では前週の報告数よりも増加し、45都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は624例であり、前週(729例)から減少した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(28例)、1～4歳(131例)、5～9歳(151例)、10代(100例)、20代(25例)、30代(21例)、40代(24例)、50代(17例)、60代(32例)、70代(38例)、80歳以上(57例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2026年第5週～2026年第9週)では、B型が319件(87%)、AH3亜型が46件(13%)、AH1pdm09が3件(1%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。